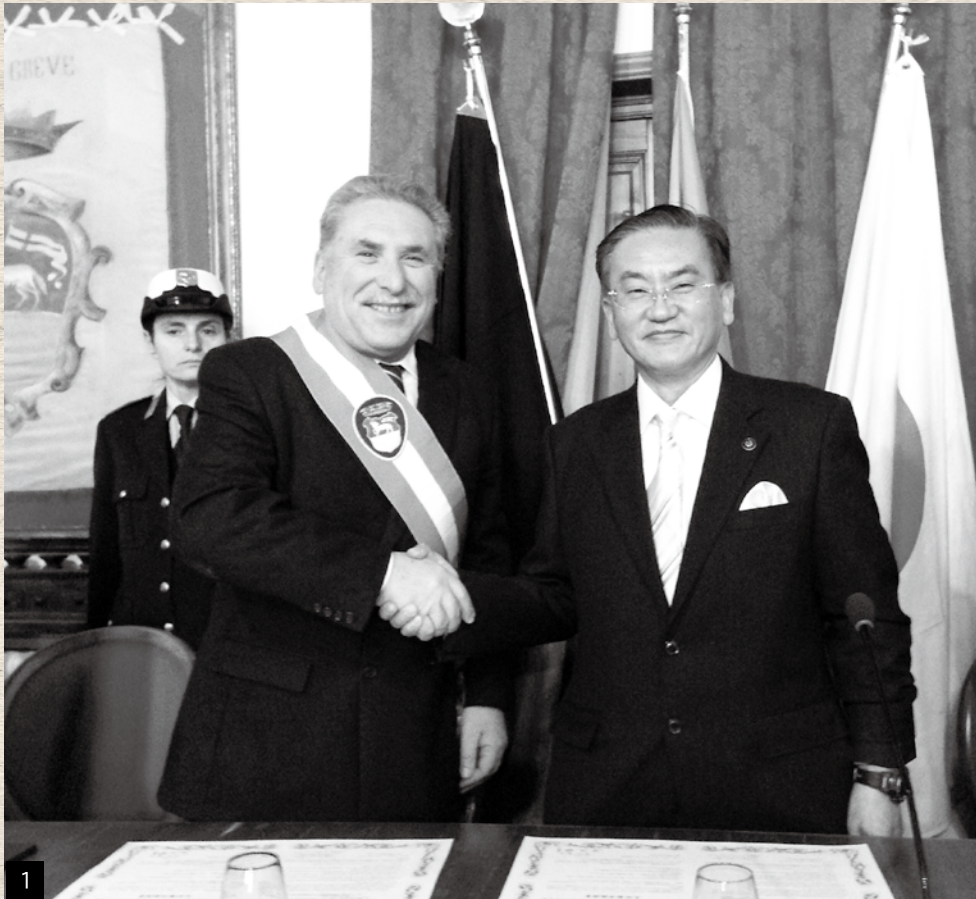


「スローシティの本場」 イタリアのグレーヴェ・イン・キアンティ市と友好都市を提携



調印された友好都市提携書

平成25年12月16日、イタリアのグレーヴェ・イン・キアンティ市役所で行われた友好都市提携調印式において、アルベルト・ベンチスタグレーヴェ・イン・キアンティ市長と池辺勝幸牛久市長が友好都市提携書に署名しました。調印式には両市長、両議会議長、現地の小学生や関係者など約60人が出席。

調印式で池辺市長は、「牛久市がこれから東京のベッドタウンから脱却して、より発展していくために、スローシティ運動を取り入れたまちづくりを成功させているグレーヴェ・イン・キアンティ市をお手本にしていきたい」と話しました。

その後、地元の小中学生から、牛久市や日本についての質問が相次ぎ、会場は和やかな雰囲気になりました。

問 市民活動課 ☎ 内線 1633

～グレーヴェ・イン・キアンティとはこんなまち～

●人口

13,888人 (2012年1月1日現在)

●過疎化に悩む小さなまちだったが、豊かな自然と伝統のワインを活かしたスローシティ運動により、まちの魅力を取り戻した。農家滞在型観光(アグリツーリズム)が有名。400以上のワイナリー(ワイン醸造所)があり、年間1億3千万本以上を生産するイタリア最大のワインの産地。

有名な“キアンティクラシコ”は日本でも人気の高いワイン。

Greve in Chianti





1. 友好都市提携書に署名し、アルベルト・ベンチスタ市長(写真左)と握手する池辺勝幸市長 2. 両市からの記念品を前に行われた友好都市提携調印式 3. 友好都市提携を祝福する地元の子どもたち 4. 牛久市から持参した法被を着る地元の子ども 5. 日章旗が掲げられたグレーヴェ・イン・キアンティ市役所 6. グレーヴェ・イン・キアンティ市のクリスマスマーケット

牛久市とグレーヴェ・イン・キアンティ市との友好都市提携書

この友好都市提携は、牛久市とグレーヴェ・イン・キアンティ市の、まちづくりにおける共通点(特にワインとスローシティの考え方)に基づいています。この友好都市の提携は、2010年に牛久市長がグレーヴェ・イン・キアンティ市を訪問したことの結果です。この友好都市の提携は、牛久市とグレーヴェ・イン・キアンティ市の特別な関係を承認し、双方の町の発展と文化、経済、市民の交流を目的とするものです。

双方の町をより理解し合うために、特に以下の3点を交流の内容とします。

1. 文化と社会的交流として
出版物の交換、芸術的催し、文化と習慣に関する催しなど
2. 経済的交流として
双方の伝統的な名産品を広めるための品評会の開催など
3. 市民交流として
双方の観光名所を知るための旅行など

この友好都市提携は、これからの継続的な具体的活動によって現実のものとなります。この記念すべき友好都市提携の確認のため、両市と両市民を代表して、牛久市長とグレーヴェ・イン・キアンティ市長が、友好都市提携書に署名します。

2013年12月16日

牛久市長
池辺 勝幸

グレーヴェ・イン・キアンティ市長
アルベルト・ベンチスタ

チャオ Ciao! 牛久市の皆さんへ



グレーヴェ・イン・キアンティ市
アルベルト・ベンチスタ市長

私とグレーヴェ・イン・キアンティ市役所の全職員から心を込めて、池辺市長と牛久市民の皆さんに、新年のお祝いを申し上げます。

2010年の池辺市長のグレーヴェ・イン・キアンティ市訪問をきっかけに始まった我々の交流は、この友好都市提携の調印で、より強く大切なものになるでしょう。皆さんが繁栄と喜びが溢れる幸せな2014年を過ごし、特に両市の若者の交流を通し、我々の友情が広がるように祈っています。

おめでとうございます! Auguri!